

国際交流員ダニエルの

KANGA
KOURYUU

カンガ交流



オーストラリアの夏休み

新型コロナウイルス感染症が初めて日本で確認されてから、1年が経ちました。いまだ終息の見通しも立たず、日本も海外の国々も、多くの方が感染症の影響で苦しんでいます。

皆さんもそうかもしれませんが、私は、遠く離れた家族や友達に長い間会えず、寂しく思っています。暗い気分になりやすい状況ですが、こんな時こそ暗雲を吹き飛ばして、テンションをあげてガンバロー!……ということで今回の記事は、私が子どものころの夏休みの過ごし方を、私と皆さんの気持ちが少しでも晴れるように書きました。どうぞ、楽しんで読んでくださいね。

実家はライチ農家! 家の手伝いが良い思い出に

オーストラリアの学期は4つに分かれていて、それぞれの間に「School Holidays (スクールホリデー)」という休みがあります。その中でも小中高校の学年修了後の「Summer Holidays (サマーホリデー・夏休み)」は、主に12月中旬から1月末まで長期にわたります。また、日本と違って宿題も部活動もなく、ほとんどの子どもたちは自由に過ごします。

私の場合は、夏休みに入ったら、家の手伝いと遊びのどちらも頑張りました。私の実家はライチの果樹園を経営していて、この時期はライチの旬とちょうど重なるので、収穫の手伝いをしながら夏休みを過ごしました。果樹園の広さは約6ヘクタールあり、4人の家族と2人のバックパッカー (アルバイト) で、約3~4週間かけてすべてのライチを収穫していました。ちなみに果樹園では3種類のライチを育てていて、それぞれ熟すタイミングが違うので、収穫には1カ月ほどかかります。

夏休みは毎朝5時から、果樹園に行ってライチを収穫します。それから、売れるライチと売れないライチに分け、さらに売れるライチを「First Grade (ファース



◀ライチを手を持つ当時11歳の私

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう

"It's beer o'clock!"



読み方 「イツ・ビア・オ・クロック」

意味 「お酒 (特にビール) を飲み始める時間」

一日の仕事を終えて、お酒を飲みたくなる人は多いと思います。終業時間になり、仲の良い同僚たちに「仕事帰りに飲みに行こうか?」などと提案したいときは、このスラングを使います。ちなみに、千葉中央駅の近くに「ビアオクロック」というクラフトビールの専門店があるそうです。オーストラリアのスラングが日本に伝わっていることを知り、面白いなと思いました (笑)

トグレード・一等)」と「Second Grade (セカンドグレード・二等)」という、2つのタイプに分ける作業をしました。First Gradeは1番きれいで、シドニー市内の市場に送ります。Second GradeはFirst Gradeと同じおいしさですが、虫などによる小さな傷のあるライチで、市場には送りません。代わりに、私と弟は週に3~4回、Second Gradeのライチを果樹園の近くの露店で売り、お小遣いを稼ぎました。そして手伝いを終わると、必ず町のプールに行き友達と遊びました。他にも、アイスを食べたり、ゲームセンターで遊んだり、クリケットやゴルフをプレイしたり……。当時からワーク・ライフ・バランスの取れた毎日を送っていました (笑)



夏休みが多くのことを教えてくれた

私の夏休みの過ごし方には、色々なメリットがありました。その中でも特に良かったことを3つ紹介します。

1つ目は、ライチの収穫と販売の経験から仕事の価値が分かったこと。2つ目はバックパッカーと触れ合うことで、海外のことをたくさん知れたことです。そして3つ目は、お金の使い方を学べたことです。憧れのスポーツ用品やテレビゲームを買うためには貯金することが大切だということが分かりました。1日頑張った自分へのごほうびに、お菓子は買っていましたけどね…… (笑) 皆さんは、夏休みをどのように過ごしていましたか?